

2021年3月3日

各位

**中枢神経疾患領域における創薬標的探索力強化のため
ニューロディスカバリーラボを米国・ボストンエリアに開設**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：上野 裕明、以下、「当社」）は、本年4月1日に、米国を中心にグローバルに展開できる中枢神経疾患領域の創薬標的探索力強化のため、米国・ボストンエリアにサテライト研究拠点ニューロディスカバリーラボ（英文名：NeuroDiscovery Lab、以下「ボストンラボ」）を新設します。

ボストンラボは、米国マサチューセッツ州ボストンに隣接するケンブリッジに位置する SmartLabs（スマートラボ）内に、ALSをはじめとする中枢神経領域の新規創薬ターゲットを探索する研究拠点として開設します。田辺三菱製薬グループが、中期経営計画 21-25 において、中枢神経領域と免疫炎症領域で、プレジジョンメディシンを実現するパイプラインを構築することを研究開発の柱に掲げるなか、ボストンラボは今後、中枢神経領域のプレジジョンメディシンをめざした早期の創薬研究において、中心的な役割を担います。スマートラボは、医薬品の研究開発企業を中心に約 40 社が入居する医薬版エコシステムで、スマートラボでの拠点開設を通して、ボストンエコシステムにおける創薬シーズの探索や協業機会の獲得をめざします。

田辺三菱製薬グループは、さまざまなアカデミアや企業との共同研究や協業を通し、アンメット・メディカル・ニーズが残る疾患に貢献しています。ボストンラボの開設を通して、中枢神経領域でプレジジョンメディシンを実現するパイプラインを構築し、一人ひとりに最適な医療を届けるヘルスケアカンパニーをめざします。

田辺三菱製薬株式会社 広報部

（お問合せ先） 報道関係者の皆様

TEL：06-6205-5119